

天使大学研究データポリシー

2025 年 10 月 6 日 教育研究評議会承認

天使大学（以下「本学」という。）は、建学の精神「愛をとおして真理へ」に基づき、いのちに寄り添う豊かな人間性と、地域社会の多様なニーズやグローバル化に対応できる高度な専門性を備えた看護及び栄養の専門職業人を育成している。

その研究活動の過程で得られた研究データを適切に管理し、可能な限り広く公開して利活用を推進することにより、さらなる社会への貢献を目指し、研究データの管理、公開及び利活用の基本方針に関して、天使大学研究データポリシー（以下「本ポリシー」という。）を以下のとおり定める。

（研究データの定義）

1. 本ポリシーが対象とする研究データとは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集または生成されたデータを指し、デジタル・非デジタルを問わない。

（研究データの管理）

2. 研究データの管理並びに公開及び利活用の方法は、それを収集または生成した研究者が、研究データの価値を守るため、それぞれの研究分野の特性を踏まえ、その法的及び倫理的要件に従って研究データを管理する。

（研究データの公開）

3. 研究者は、それぞれの研究分野の特質を踏まえ、その法的及び倫理的要件に従って、可能な限り社会に研究データを公開し、その利活用を促進する。

（大学の役割）

4. 本学は、研究データの管理、公開及び利活用を支援する環境の整備を推進する。

（その他）

5. 本ポリシーは、社会情勢や学術状況等の変化に応じて、適宜見直しを行うものとする。

附則

本ポリシーは、2025 年 11 月 1 日から施行する。